

花王 ユニリーバと容器包装の資源循環の推進に向けて協業



回収ボックス(イメージ)

花王は、ユニリーバ・ジャパンと日用品のプラスチック容器包装の資源循環の推進に向けて協業することを決定した。

その一環として、6月1日より東京都東大和市にて「みんなでボトルリサイクルプロジェクト」を開始する。市内10カ所に回収ボックスを設置し、家庭で使用後にきれいに洗浄して乾かした使用済み容器を回収。リサイクル事業者へと運び、分別・洗浄・処理した後、

ボトル容器からボトル容器への水平リサイクル技術を検証し、ボトルリサイクルプロジェクト

花王 中国・合肥工場にサニタリー製品生産の新棟を竣工

花王は5月13日、中国安徽省合肥市にある花王(合肥)有限公司(西口徹 董事長兼総経理)の工場内(敷地面積約12・4万㎡(第2期約5・4万㎡))に新棟を竣工した。初期投資額は約60億円、年内に稼働させ新たなサニタリー製品を生産していく。



中国・合肥工場にサニタリー製品生産の新棟を竣工

からボトル容器へのリサイクルを目指す。このプログラムを通して、消費者参加型で、商業的にも持続可能な使用済み容器の分別回収の仕組みの検討、リサイクル技術の検証を進めるとともに、得られた知見をもとに企業・業界の枠を超えて共通利用可能な日用品容器のガイドラインの策定に貢献していく。

生産体制を増強すること、中国消費者のニーズに寄り添う品質の高い商品をいち早く消費者に届けることを目指す。今後、中国市場においては、現地の消費者のニーズに合わせ、花王グループの先進技術を取り入れるとともに、現地の生産・供給を強化し、多様化する消費者のニーズに信頼性の高い商品で



アンチエイジング株式会社 代表取締役 牛島 美樹 氏

牛島 美樹 氏

The Voice

「再生医療生まれの化粧品原料」「ヒト幹細胞培養液」は、韓国から広がり現在、国内市場も確立された。この国内展開のパイオニアこそ「ヒト幹細胞培養液」専門の原料メーカー・アンチエイジングだ。肌老化の原因を根本から解決しアンチエイジングに有用とされる化粧品業界にパラダイム

「変化を起したい」との想いで同社設立と共に提案を開始した。野中氏を右腕として支えたのが、マーケティングプランナー出身で現社長の牛島美樹氏だ。有効性や安全性の膨大なデータを理解しやすい形に整え、提案の円滑化に貢献した。「今までにない原料

だからこそ誰しもが理解しやすい情報整理が重要。「小さな違和感も見逃さない」姿勢を心がけた(牛島氏) 会社が軌道に乗り始めた14年、野中氏にガンが発覚した。亡くな

るまで命と向き合い続けた野中氏に突き動かされるように、牛島氏はじめ同社は、精力的な活動で認知と信頼を獲得していく。 19年12月、牛島氏が二代目社長に就任すると「ヒト幹細胞培養液専門」と掲げた提案を開始。高濃度品から、リポソーム化や「エクソソーム」との融合で生体内利用率を高めたものなど、特長をわかりやすく明示し、顧客接点をさらに広げた。新原料では1月、浸

化粧品業界にパラダイムシフトを ヒト幹細胞培養液拡大の挑戦続く

(禁無断転載) ©R 本紙の全部または一部を無断で複製(コピー)することは、堅く禁じられています。本紙からの複製を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY) (03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。

ライオン 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定

ライオン(柳川正純社長)は、国籍・性別・年齢などに問わず、多様な働き方や価値観の社員が活躍できる環境を整備し、さらなる価値創出の機会を増やすべく、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定した。

計画期間
は、2021年5月1日～2023年12月31日とし、2030年末まで「管理職層(課長以上)の女性比率35%以上」「男制の構築を進めることにも」に、「アソシエイト」の育成取得100%」を目標とする。

具体的には、2021年より、男女ともに活躍を促すための評価制度の見直しやキャリア支援体制の構築を進めることにも、「アソシエイト」の育成取得100%」を目標とする。



柳川社長

「設立10年目を迎える今年、現在地を俯瞰できるようになり」「ヒト幹細胞培養液」のさらなる可能性が見えてきた。今後、攻めの姿勢で市場拡大に貢献する(牛島氏) (高)

今日を愛する。 LION